

# 自己点検・自己評価報告書

平成19年の学校教育法及び同法の施行規則により、専門学校においても平成20年度より、自己点検・自己評価が義務付けられました。本校では「自己点検・自己評価委員会」を設置して、教職員による自己点検・評価を実施いたしました。平成23年度の結果を公開致します。

医療法人八女発心会 専門学校 久留米リハビリテーション学院

平成23年4月1日作成

# 目次

基準1	教育理念・目的・育成人材像	基準4	教育成果
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4-18	就職率(卒業者就職率・求人者就職率・専門就職率)の向上が図られているか
1-2	学校の特色はなにか	4-19	資格取得の向上が図られているか
1-3	学校の将来構造を抱いているか	4-20	退学率の低減が図られているか
基準2	学校運営	4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
2-4	運営方針は定められているか	基準5	学生支援
2-5	事業計画は定められているか	5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか
2-6	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	5-23	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	5-24	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか
2-8	意思決定システムは確立されているか	5-25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5-26	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか
基準3	教育活動	5-27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界のニーズに向けて正しく方向付けられているか	5-28	保護者と適切に連携しているか
3-11	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	5-29	卒業生への支援体制はあるか
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	基準6	教育環境
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	6-30	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
3-14	授業評価の実施・評価体制はあるか	6-31	学外学習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
3-15	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	6-32	防災に対する体制は整備されているか
3-16	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか		
3-17	資格取得の指導体制はあるか		

# 目次

- 基準7 学生の募集と受け入れ
  - 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか
  - 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
  - 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか
  - 7-36 学納金は妥当なものとなっているか
  
- 基準8 財務
  - 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
  - 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
  - 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか
  - 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか
  
- 基準9 法令等の遵守
  - 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
  - 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
  - 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
  - 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか
  
- 基準10 社会貢献
  - 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
  - 10-46 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか

①教職員による自己点検・自己評価

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等			
点検項目		点検の進み具合	総括・特記事項
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	5	厳格に定めている。学生・教職員に理解出来る言葉で示している。
1-2	学校の特色はなにか	5	e-schoolを活用して効率化したレベルの高い教育体制、国家試験対策への充実した取り組みを図り高い合格率を維持している。さらに緑豊かで集中力を高め、心身の健康をはぐくむ自然環境に立地している。
1-3	学校の特色はなにか将来構造を抱いているか	4	特色を生かし将来を認識し、20年先の未来年表を作成して教職員が一丸となり邁進している。「学生のための学校運営」として必要なことは常にイノベーションする因子を有している。
全体			
基準 2 学校運営			
2-4	運営方針は定められているか	5	各委員会、学科会議、事務会議、コア会議を円滑に行い、教員会議にて各教員が何をなすべきか明示されている。会議議事録の回覧も行っている。
2-5	事業計画は定められているか	4	20年先の目標達成する為に、発展未来年表を作成し計画ビジョンを定めている。短中期的な計画は年度ごとに教職員に規定を配布している。
2-6	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	4	運営組織図は策定している。意思決定事項は、学科会議、教員会議、コア会議をへて最終的には法人理事会にて審議されている。
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3	法定教員数を超えて教員を雇用し、多様な業務に対応している。また、授業評価や業績評価により昇給制度がある。
2-8	意思決定システムは確立されているか	3	確立されている。各種会議、委員会、学院長稟議・理事会稟議・組織体制図等
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	共有サーバの活用による教職員間の情報共有とペーパーレスにより効率化の実施
全体			
基準 3 教育活動			
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	自立した医療人育成を目指し、教育目標を毎年見直し、各学科・各学年の学生達成目標を明確化している。
3-11	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4	知識・技術に関する教育目標は国家試験合格基準を基本レベルとして設定している。また業界のニーズに対応できる社会性を学年目標に定めて学生・教職員への周知徹底を行い、目標達成するべく努力精進している。
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	3	新カリキュラムへの変更後は知識・技術・人間力を高める目標を達成できる編成にしているが、今後は更なる見直しを図り入学生の基準に則した内容にする。
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	3	高度専門士の称号に合致した位置づけがなされ、明確になっている。
3-14	授業評価の実施・評価体制はあるか	5	平成18年度から学生による教員の「授業評価」を実施し、結果をホームページに公開している。
3-15	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員確保をしているか	5	厚生労働省指定の専任教員数資格要件を備えた教員を必要数を超えて確保している。非常勤講師に関しては、厚生労働省の指定規則に従って専門性の高い人物を採用している。
3-16	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	基準は明確である。学則に記載されている。
3-17	資格取得の指導体制はあるか	4	国試対策委員会を設け、データ分析を熟考して綿密な指導を行っている。「Challenge e-training system」を導入し、ネットにより学外からも過去問10年分を解答する事ができる。
全体			

基準 4 教育成果			
点検項目		点検の進み具合	総括・特記事項
4-18	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上がはかられているか	5	5年連続100%就職率を達成。平成23年度卒業生の求人は現時点で、理学療法学科1156件作業療法学科1190件と好調である。就職委員会を中心に適切な職場への就職サポートしている。
4-19	資格取得率の向上が図られているか	4	毎年100%を目標に精進している。過去5年分のデータはホームページに掲載している。
4-20	退学率の低減が図られているか	3	個人面談、保護者面談、三者面談を行い退学者は減少している。
4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	在校生の社会的活躍については教員会議にて担任より報告する。また学生集会を開催し、全学生への報告も行う。卒業生の活躍は、元担任より教員会議で報告する。
全体			
基準 5 学生支援			
5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	個人面談、就職説明会を実施し、十分機能している。
5-23	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	学生の相談は担任、学科長、統括部長が個別相談を時間をかけて行い、有効に機能している。
5-24	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	日本学生支援機構奨学金に加えて学内奨励金も併用し、23年度より「学費の分割納入プラン」も開始した
5-25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	同法人病院を活用し、学生の健康面を支援し機能している。健康診断、インフルエンザ予防接種等。
5-26	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	サークル活動には教員が顧問として参加している。ボランティア活動においてはボランティア委員会の教員を中心に積極的な参加を支援している。
5-27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	遠方者に対して入学金の減額、住居の斡旋紹介を行っている。男子学生に関しては、指定寮で食事の提供も行っている。
5-28	保護者と適切に連携しているか	4	成績表は前・後期末に保護者宛に送付している。生活面、成績面での問題が有る学生に対しては電話連絡や三者面談も行っている。
5-29	卒業生への支援体制はあるか	3	、在校生自治会や、同窓会である「掌志会」が機能しており、年数回の勉強会を行っている。
全体			
基準 6 教育環境			
6-30	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか	4	厚生労働省の設置基準を満たし、各学科のカリキュラムに対応できる設備となっている。各フロアは無線ランに対応したOAフロアになっている。
6-31	学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	学外実習は、実習施設を十分に満たし整備されている。海外研修は、現時点での必要性が無いと判断し、行っていない。
6-32	防災に対する体制は整備されているか	5	防災対策員を設置し十分に機能している。定期点検の実施。八女消防署のご協力を頂いての学生・教職員による定期的な防災訓練の実施が行われている。
全体			

評価： 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

基準 7 学生の募集と受け入れ			
点検項目	点検の進み具合	総括・特記事項	
7-33	学生募集活動は適正に行われているか	3	事務部を中心に教職員で高校訪問、進学ガイダンスを柱に活動している。福岡県専修学校各種学校協会に加盟して、適切な募集活動をおこなっている。今後は年次広報計画の明確な策定を行い広報力の向上を図って行く。
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	国家試験合格率はHP、学校案内に掲示している。高校進路指導部に対してはリスト化した表を提示して出身校へフィードバックしている。
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	5	社会・医療界のニーズに応じて、学科試験、小論文、面接を実施し適正かつ公正に行っている。
7-36	学納金は妥当なものとなっているか	4	現時点ではおおむね妥当な金額となっていると認識しているが、今後の社会状況の変化や医療系他校の動向を情報収集し迅速に対応する。
全体			
基準 8 財務			
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	学院は医療法人の付帯事業としての位置づけであり、病院、老健施設ともに堅調なため、学生数に左右されない財務基盤がある。
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	利益中心ではなく、理想的な教育のために資金配分している。
全体			
基準 9 法令等の遵守			
9-39	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5	法令、設置基準等に関してはそれらを遵守したうえで、適切な運営が行われている。
9-40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	対策は取られているが、十分ではない。取り扱いに関する規定を早急に作成し教職員の共通認識を確立する必要がある。
9-41	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	今年度より自己点検・自己評価を実施した。結果の解析と分析を行い問題点の改善に努めて行く。
9-42	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5	HPIにて閲覧出来るようにした。
全体			
基準 10 社会貢献			
10-43	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	施設を外部に対し開放しており、各協会や団体の会議や勉強会・講習会等に無償で提供している。
10-44	学生の募集と受け入れボランティア活動を奨励、支援しているか	4	地域や病院・施設からのボランティア募集に対し学生を積極的な参加を促し奨励、支援している。
全体			

評価： 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない